

成蹊大学剣道部 OB懇親会（創部95周年）

丸江愛太郎（経・55年）

『成蹊大学剣道部 OB懇親会』が平成23年12月3日（土）に皇居を臨む国際ビルディング2階にて開催されました。本懇親会は当初同年3月26日に『成蹊学園剣道部 創部95周年記念懇親会』として、成蹊学園の10号館12階で開催する予定でしたが、東日本大震災の発生を受け開催を見送った経緯があります。

成蹊学園の旧制中学校が創設されたのは1914年（大正3年）ですが、剣道部はその2年後の1916年（大正5年）に旧制中学校に創部されたのを嚆矢として、その後1925年（大正14年）、旧制高等学校が創設されると旧制高等学校でも創部されました。

敗戦後は剣道が連合国軍によって禁止される時期（1945年～1952年）があり、新制大学では1959年（昭和34年）に剣道愛好会として復活。1963年（昭和38年）には剣道部に昇格しました。従いまして2011年（平成23年）は、旧制中学校の剣道部創部から95周年を迎えたことになります。

剣道部の歴史を顧みますと、中村春二先生の友人で成蹊学園の創立に深く係わられた岩崎小弥太元理事長や今村繁三元理事との関係の深さに驚かされます。まず剣道場ですが、1926年（大正15年）5月に、現在の

豊島区巣鴨に在った三菱本社の『染井（そめい）道場』が岩崎小弥太理事長の意向により無償で成蹊学園に移築されました。また旧制高等学校剣道部員の第1回の卒業記念（1928年：昭和3年）で撮られた写真には、防具を付けた姿の今村元理事が、旧制中学・旧制高等学校の剣道部員や三菱本社と成蹊学園の剣道師範を兼務されていた橋本統陽師範と一緒に、三菱本社から移築された剣道場の前で写っています。

懇親会には大学剣道部元部長の中田一行元経済学部教授、現部長の武藤健一郎理工学部教授、現副部長の戸谷希一郎同准教授や、永年大学剣道部をご指導下さいました青木敬汎名誉師範、三好浩孝（同志社大学OB）様をお招きするとともに、旧制高等学校の卒業生から本年度大学卒業生まで100名強が、海外は中国から、また国内は九州を始め関西、関東・甲信越などから参集しました。

開会宣言後、旧制高等学校と新制大学の剣道部OB会の蹊剣会（けいけんかい）の小田部裕会長（昭和47年卒）から、成蹊学園剣道部95年間の歴史について、戦前・戦中の活動状況、戦後の四大学戦や全日本学生優勝大会（合計9回出場）への参加実績などを交えた説明が有りました。

続いて蹊剣会初代会長で旧制高等学校（昭和10年卒）の三枝守維先輩、新制大学剣道部再興に尽くされた（昭和38年卒）の高木脩先輩に挨拶を戴き、二代目会長である（昭和41年卒）の柳澤光臣先輩の乾杯で歓談・飲食へ移りました。

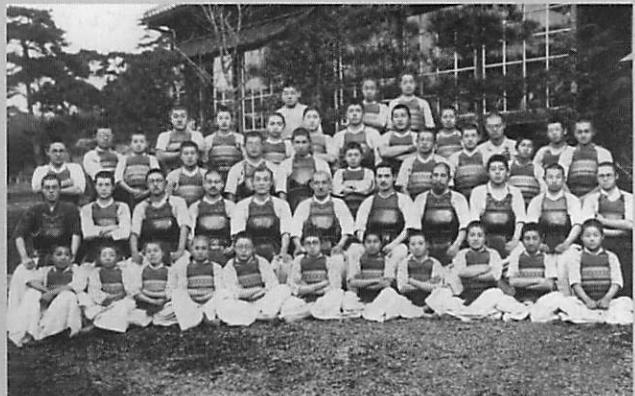
宴もたけなわになったとき、元剣道部長の中田一行元教授、青木名譽師範、武藤現部長、戸谷現副部長、高橋克典前監督（昭和55年卒）、福永努現監督（平成5年卒）、大和謙助監督（平成17年卒）などから昔の剣道部の思い出話や、現在の剣道部の目覚しい活躍ぶり（目下全日本学生優勝大会へ4年連続出場という快挙を達成中）、などが披露されました。

再度歓談後全員で記念写真を撮り、校歌を斎唱し、父親と共に親子二代にわたり剣道部員の相賀昌宏副会長（昭和48年卒）が挨拶し、5年後の100周年記念の盛大な祝典の開催を誓い合い、無事お開きになりました。

なお、成蹊学園史料館の承諾を得て、お土産として戦前剣道場に掲げられていた永平寺の元管長、日置黙仙禅師が大正6年に揮毫した『真剣』の額を手拭いに染めたものが配られました。



創部95周年 懇親会



高等学校（旧制）剣道部員 第1回卒業生送別会
今村繁三元理事（2列目左から6番目）、その右側
橋本統陽師範らと道場前にて